

概要

～2022年度版～

体験の風を
おこそう



やすこうげん
きずしんしゃ



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立夜須高原青少年自然の家



目次

- 概要 1
- SDGs宣言とは 2
- 利用にあたって 3
- エリアマップ 4~5
- 施設紹介 6~7
- 活動プログラム紹介 8~9
- 施設業務運営委員会委員 沿革 10
- アクセスマップ 11



国立夜須高原青少年自然の家は、昭和63年に開所以来「子どもの体験活動の推進」と「利用者第一」を柱に運営してきました。

お陰をもちまして、これまで延べ400万人を超える方々にご利用いただき、微力ながら体験活動の拠点としての役割を果たしてきました。

さらに、今後は自然体験や感動体験等の非日常体験を大切にしながら、「学校の教育課程とマッチングしたプログラム開発」や「ESD・SDGs※推進の取組」に力を入れながら、日常を継続し学び直すことができる施設づくりを目指していきます。

注釈)

※ESD・SDGs…SDGsは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略。2030年までに達成を目指す国際目標である。ESDは、「Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)」の略で、持続可能な社会の担い手づくりを通して目標達成に貢献しようとするもの。

SDGs 宣言とは…

日本が、そして世界が、この先もずっと持続していくために、社会のさまざまな課題を、2030年までに解決することを目指す目標です。先進国から発展途上国まで、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓い国連において全会一致で採択された、私たち一人ひとりが関わる世界共通の目標になります。

そこで、国立夜須高原青少年自然の家では、SDGsプロジェクトを起ち上げ、利用者とともに積極的に推進していきます。

国立夜須高原青少年自然の家 「SDGs」推進宣言

私たち国立夜須高原青少年自然の家は、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進する立場から、SDGsの達成に貢献できるよう、五つの方針を定め、「YASUKOGEN SDGs Project」と称して、多様な活動場面において取り組みます。

- ・ 職員一人一人がSDGsを理解し取組の推進に貢献します
- ・ 研修支援の様々な機会にSDGsを発信します
- ・ 教育事業にSDGsの理念を取り入れて展開します
- ・ 関係機関・団体と連携してSDGsを発信します
- ・ SDGsを踏まえて施設の管理運営に取り組みます

この取組を通して、持続可能な社会の創り手の育成に寄与することを宣言します。

National Institution For Youth Education
National Yasukoen Youth Outdoor Learning Center
YASUKOGEN
SDGs project

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

「国立夜須高原青少年自然の家」は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

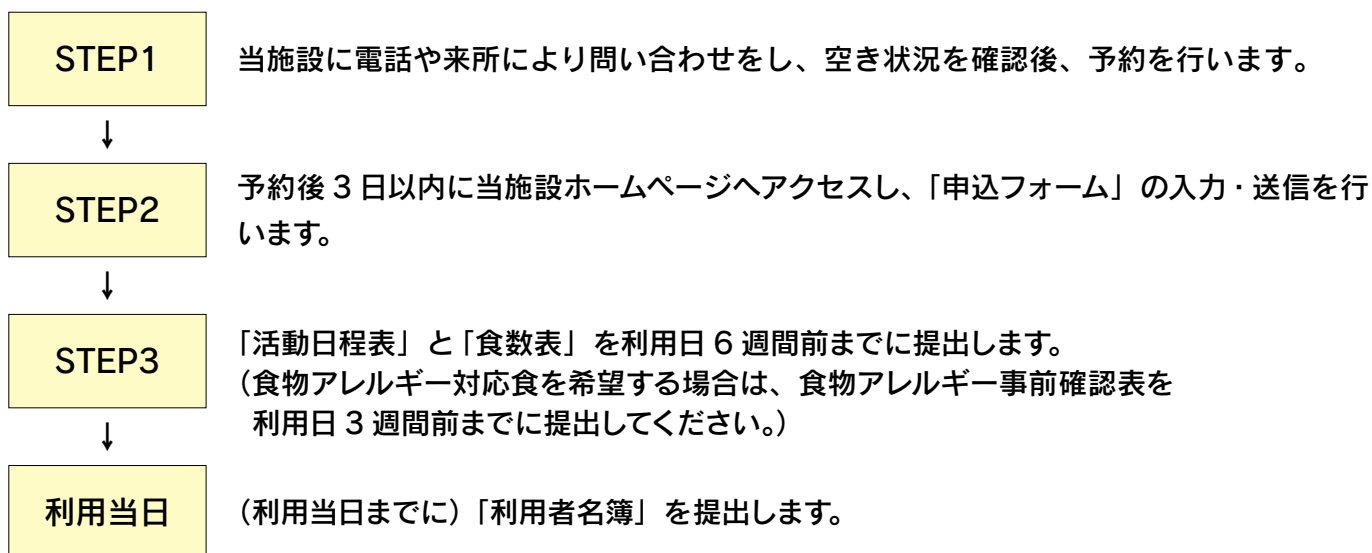
2020年6月5日
国立夜須高原青少年自然の家

利用にあたって

当施設は、研修計画を持つ2名以上の団体（家族も含む）であれば、どなたでも利用することができます。
※ただし、青少年団体の場合は引率者が必要です。

なお、特定の政党を支持する活動や宗教的活動の他、もっぱら営利を目的とした活動を行う団体または研修を目的としない団体は利用することができません。

〈申込方法〉



〈費用〉

施設使用料 ※1	無料
シーツ等洗濯料	300円

※1 施設使用料は、学校その他の教育機関や青少年及び青少年教育関係者による研修等での利用に該当しない「一般利用」の場合、1人1泊810円(2023年4月1日から900円)となります。

〈食費〉

レストラン食	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	500円	600円	750円	1,850円
小学生	480円	580円	740円	1,800円
未就学児(3歳以上)	350円	450円	600円	1,400円

○レストラン食の他、各種弁当、軽食等もございます。



エリアマップ



①多目的コート



②本館入口



③草スキー場



④野外炊飯場(管理棟横)



⑤第5炊飯場
第2キャンプファイアー場



⑥つどいの広場



⑦第1キャンプファイアー場



⑧運動広場(75m×35m)

本館生活エリア

ドリームA 宿泊室



宿泊室(ひよどり①)



宿泊室(ひよどり和室)

ドリームB 宿泊室



あさかぜ・すいせい・みずほ

【宿泊棟】()は各宿泊室のベッド数

- ドリームA：うぐいす(24)、かっこう(20)、ひよどり(20)、めじろ(24)、身障者用浴室
- ドリームB：あさかぜ(35)、すいせい(34)、みずほ(35)

本館活動エリア

レストラン



大浴室



ラーニングルーム



本館外生活エリア

ロッジA

ロッジB

【宿泊棟】()は各宿泊室のベッド数
 ●ロッジA(48) ●ロッジB(48)

エキスパンションハウス



ディスカバリーハウス



【研修棟】

- エキスパンションハウス(自然環境教育棟)
 - ・ラーニングルーム7(研修室 102人)
 - ・コミュニティルーム① 33名
 - ・コミュニティルーム②(L8,9,10) 27名
 - ・太陽光発電システム、表示パネル
 - ・フリースペース

本館外活動エリア

スタードーム



観察スペース



天体望遠鏡



ミニプラネタリウム
(現在使用を停止中)



【研修棟】

- ディスカバリーハウス(多目的研修棟)
 - ・創作室(50人)
 - ・展示室(12m×11m)
 - ・ラーニングルーム5(研修室 192人)
 - ・和室(10畳)
 - ・レクリエーションルーム(約8m×17m)
- スタードーム(天体観測棟)
 - ・ラーニングルーム6(研修室 54人)
 - ・展示室(45人)
 - ・ミニプラネタリウム
 - ・屋上観察スペース
 - ・観測室(200mm天体望遠鏡)

活動プログラム紹介

フィールド活動・登山・ハイキング

- フィールドビンゴ
- ウォークラリー
- オリエンテーリング
- フォトラリー
- 五玉神社のなぞを解け
- 大根地山登山
- 秋月ハイキング
- ナイトハイキング
- テント泊
- 夜須アドベンチャー
ウォーク など



五玉神社のなぞを解け



ナイトハイキング



大根地山登山 (山頂)



テント設営

野外調理

- 野外炊飯
(カレー・ピザ・パエリアなど)
- バーベキュー
- もちつき など



野外炊飯 (カレー)



もちつき

水辺活動(夏季のみ)

- 川遊び ○溪流遊び など



川遊び

積雪時の活動

- 雪ソリ ○スノーシュー体験 など



雪ソリ

レクリエーション活動

- キャンプファイヤー
- キャンドルのつどい
- 林間ボブスレー
- 草スキー
- ニュースポーツ など



キャンプファイヤー



林間ボブスレー ※現在使用を停止中



キャンドルのつどい



ニュースポーツ (キンボール)

学習活動 (文化的活動)

- 天体観察
(口径200mm屈折天体望遠鏡)
- 星座・星空観察
- 自然観察
- 絵本読み聞かせ
(ビッグブックなど)
- DVD鑑賞
- 講演会
- 書道
- 絵画
- 吹奏楽 など



天体観測 (月・土星・木星など)

スポーツ (プレイホール)

- 剣道
- バレーボール
- バスケットボール など



剣道

クラフト(創作)活動

焼き杉
(コースター)



杉皿アート

竹とんぼ

焼き杉 (表札)

プラホビー



焼き杉 (コースター)

施設業務運営委員会委員

施設業務運営委員会…

当施設の業務運営に関する重要事項について外部有識者の意見を聞くための運営諮問委員会

役職等

一般財団法人 理事長

教育大学 大学教授

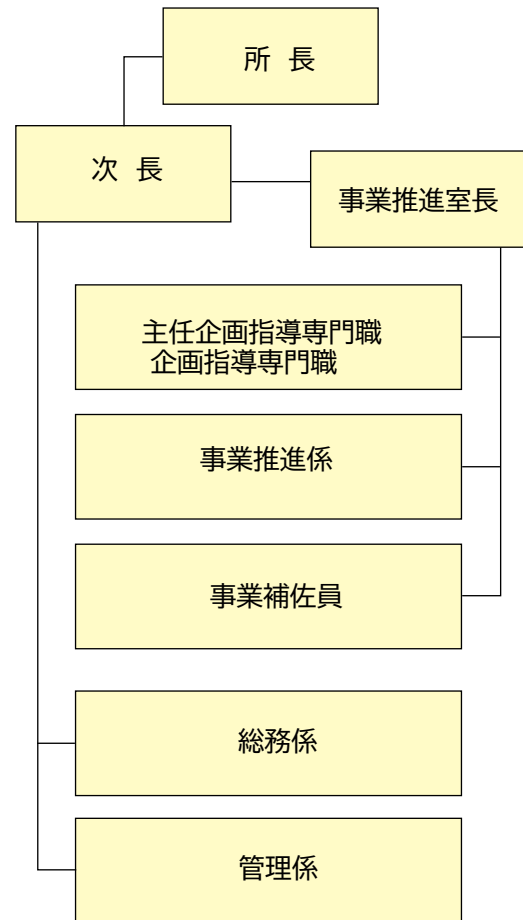
筑前町 町長

報道機関 支局長

行政職員

学校教育関係者

組織図



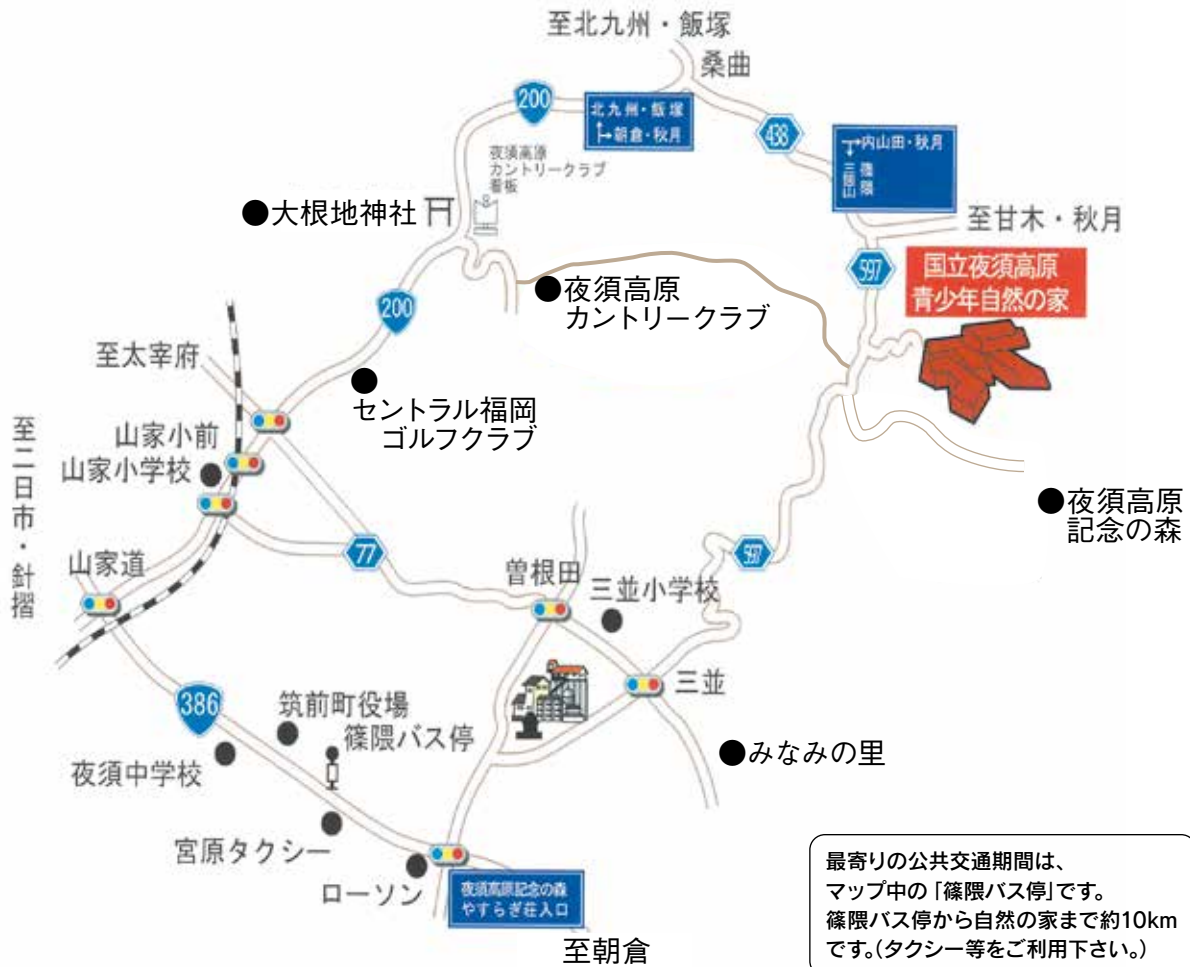
沿革

昭和63年(1988)4月	「国立夜須高原少年自然の家」開設
昭和63年(1988)7月	宿泊室、プレイホール 完成
昭和63年(1988)11月	ロッジA・B 完成
平成2年(1990)5月	ディスカバリーハウス、キャンプ場避難小屋 完成
平成3年(1991)3月	スタードーム完成
平成5年(1993)3月	野外運動広場、草スキー場 整備
平成6年(1994)9月	林間ボブスレー場 完成
平成10年(1998)9月	開所10周年記念式典 挙行
平成12年(2000)5月	エクспанションハウス 完成
平成15年(2003)3月	第1キャンプ場野外炊飯棟 完成
平成18年(2006)4月	「独立行政法人国立青少年教育振興機構」の施設へ移行併せて「国立夜須高原青少年自然の家」へ名称変更
平成20年(2008)11月	開所20周年記念式典 挙行
平成30年(2018)11月	開所30周年記念式典 挙行
令和2年(2020)12月	ドリームB改修工事 完了

アクセスマップ

馬場山IC方面

筑紫野IC方面

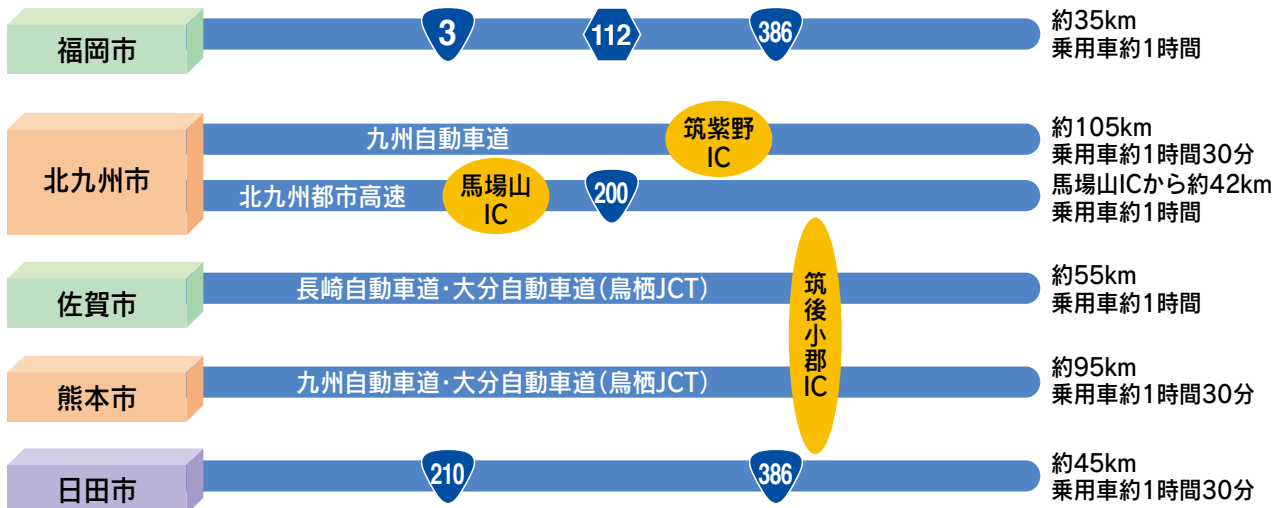


最寄りの公共交通機関は、マップ中の「篠隈バス停」です。篠隈バス停から自然の家まで約10kmです。(タクシー等をご利用下さい。)

筑後小郡IC方面

アクセス

※福岡・大牟田からJR鹿児島本線二日市駅・西鉄大牟田線朝倉街道駅下車、西鉄バス「篠隈バス停」下車





国立夜須高原青少年自然の家は、
「早寝早起き朝ごはん」
国民運動に参加しています。

「早寝早起き朝ごはん」国民運動とは…

- ・学習意欲・体力・気力の向上を図る
- ・望ましい基本的生活習慣を育成
- ・生活リズムの重要性を再認識
- ・地域ぐるみで支援するための環境設備など
地域社会、学校、家庭が一体となって、
心身共に健康な子供たちの育成をめざします。
詳しくは「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の
ホームページをご覧ください。
<http://www.hayanehayaoki.jp/>



国立夜須高原青少年自然の家は、
「体験の風をおこそう」
運動を推進しています。

「体験の風をおこそう」運動とは…

近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、
社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、
子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるか
を広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運
を高める運動です。

詳しくは「体験の風をおこそう」運動の
ホームページをご覧ください。
<https://taikennokaze.jp>



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立夜須高原青少年自然の家

〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103

TEL:0946-42-5811 FAX:0946-42-5880

E-Mail:yasu-jigyoku@niye.go.jp HP:<https://yasu.niye.go.jp/>

